

様式第8（第22条関係）

平成29年度電源立地地域対策交付金事業評価報告書

中 第 967 号
平 成 30 年 2 月 13 日

中国経済産業局長 波留 静哉 殿

岡山市北区内山下二丁目4番6号
岡山県知事 伊原木 隆 太

平成29年6月30日付け20170522中国第16号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について電源立地地域対策交付金交付規則第22条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	県道宮地鹿瀬線舗装改修事業	岡山市	4,400,000	4,400,000	総事業費 7,458,266

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	県道宮地鹿瀬線舗装改修事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山市		
交付金事業実施場所		岡山市北区建部町中田・西原地内		
交付金事業の概要		<p>当該路線は、西原地区住民の通勤通学はもとより主要な生活道ですが、地元町内会長より非常に危険な状況であると舗装改修の強い要望があり、市道路管理担当職員が現地確認をしたところ、長年の効用により路面に亀甲状のひび割れ、大きな轍が多数ありました。また、一車線の道路で歩道も設置されておらず今後も道路改良計画はなく、歩行者及び二輪車が通行する際に車両が通行すると轍で車両がバウンドし、非常に危険な状況です。このことから、本事業では、交付金を活用し舗装改修工事を実施することにより、歩行者及び二輪車が安全で安心して通行できる道路となるよう交通環境の改善を図ります。</p> <p>切削オーバーレイ工 延長L=266.2m 幅員W=4.00m~9.75m A=1,448㎡</p>		
総事業費（円）	7,458,266	交付金充当額（円）	4,400,000	
		うち文部科学省分	0	
		うち経済産業省分	4,400,000	
交付金事業の成果目標		<p>当該路線は、地区住民の主要な生活道であります。前回整備から30年以上経過しており路面が亀甲状にひび割れ大きな轍が多数あり、歩行者及び二輪車が通行する際車両が通行すると轍で車両がハンドルをとられそうになり、非常に危険な状況であります。そこで、舗装改修工事を実施することにより、歩行者及び二輪車が安全に通行でき、また、通行車両も安心できる道路となるよう交通環境の改善を図るものです。併せて、市のホームページに掲載しPRすることにより、発電用施設の設置および運転の円滑化のため、地域住民の理解をより一層図っていくこととしています。</p>		
交付金事業の成果指標		<p>上記、成果目標を達成するため、舗装改修工事を施工します。このことにより、事業実施により窪み・轍などがなくなり、当路線の危険な状況箇所は100%解消され、通勤・通学等の二輪車はもとより地域住民が安全で安心して通行できる快適な道路環境の整備に努め、工事期間中はPR看板を設置し交付金事業による整備であることの周知に努めます。また、完工後は実走により路面状況の確認を行います。</p>		
交付金事業の成果及び評価		<p>舗装改修工事は12月7日に完了検査を行い合格であったため供用しております。以前は轍等が多数有り二輪車の通行が非常に危険な状況でありましたが、改修後は轍等でハンドルがとられる危険がなくなりました。また、降雨時においても水たまりなども全く見られず、二輪車が安心して安全に通行しています。二輪車等がふらつきもなく通行できるようになったことから、多数通行する大型車におきましても安心して通行できるようになり、当路線の危険な状況箇所は100%解消されました。この事業で道路が整備されたことについて地域住民に聞き取り調査を行ったところ、非常に感謝しているという声をいただきました。今後も交通量が多く危険な状況の道路を優先し整備してまいります。</p>		
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額（円）
	道路舗装改修工事	一般競争入札	株式会社延山	7,458,266
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
無				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			なし	

-
- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。
- (4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
- (5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
- (6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- (7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。

様式第8（第22条関係）

平成29年度電源立地地域対策交付金事業評価報告書

中 第 847 号
平成30年1月9日

中国経済産業局長 波留 静哉 殿

岡山市北区内山下二丁目4番6号
岡山県知事 伊原木 隆 太

平成29年6月30日付け20170522中国第15号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について電源立地地域対策交付金交付規則第22条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道小森高富線舗装修繕工事	吉備中央町	4,400,000	4,400,000	総事業費 4,644,000

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道小森高富線舗装修繕工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		吉備中央町		
交付金事業実施場所		岡山市北区建部町中田・西原地内		
交付金事業の概要		<p>当該路線は、西原地区住民の通勤通学はもとより主要な生活道ですが、地元町内会長より非常に危険な状況であると舗装改修の強い要望があり、市道路管理担当職員が現地確認をしたところ、長年の効用により路面に亀甲状のひび割れ、大きな轍が多数ありました。また、一車線の道路で歩道も設置されておらず今後も道路改良計画はなく、歩行者及び二輪車が通行する際に車両が通行すると轍で車両がバウンドし、非常に危険な状況です。このことから、本事業では、交付金を活用し舗装改修工事を実施することにより、歩行者及び二輪車が安全で安心して通行できる道路となるよう交通環境の改善を図ります。</p> <p>切削オーバーレイ工 延長L=266.2m 幅員W=4.00m~9.75m A=1,448㎡</p>		
総事業費（円）	4,644,000	交付金充当額（円）	4,400,000	
		うち文部科学省分	0	
		うち経済産業省分	4,400,000	
交付金事業の成果目標		<p>当路線は、高富・神瀬・小森地区の重要な連絡道であり、高齢者の多い当地区住民の通所介護（デイサービス）、総合スポーツ公園・道の駅かもがわ円城・役場等へ移動する生活主要道路です。また、大型バスの往来があるため応急的にパッチング等の一部補修を行い維持管理をしてきたが、アスファルト舗装施工後20年余り経ち、路面の老朽化によりワダチ掘れ等が増え、全面的な舗装の修繕が必要になったことから、舗装維持修繕工事を実施し、通行人が安心・安全に通行できる道路となるよう交通網の整備を行うことを目標とします。</p> <p>また、地域の住民をはじめ多くの町民に当事業の理解を深めてもらうために町ホームページへ記載しPRします。</p>		
交付金事業の成果指標		上記成果目標を達成するために全長2,488mのうち59%(1,460m)の工事完了を目標とします。		
交付金事業の成果及び評価		<p>計画どおり整備され、全長2,488mのうち59%(1,460m)の工事を完了しました。地域住民に電源立地地域対策交付金の財源により実施している旨を伝え、聞き取り調査した結果100%満足の声と、引き続き当事業による整備に期待する声をいただきました。今後も優先度の高い生活道路から整備し、地域の理解を促進していくこととしています。</p>		
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額（円）
	工事の請負	指名競争入札	有限会社 成平建設	4,644,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
無				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			無	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。
- (4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
- (5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
- (6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
- (7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。

様式第8（第22条関係）

平成29年度電源立地地域対策交付金事業評価報告書

中 第 1135 号
平成 30 年 3 月 29 日

中国経済産業局長 波留 静哉 殿

岡山市北区内山下二丁目4番6号
岡山県知事 伊原木 隆 太

平成29年6月1日付け20170427中国第8号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について電源立地地域対策交付金交付規則第22条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	除雪機械整備事業	鏡野町	9,000,000	9,000,000	総事業費 10,659,600

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	除雪機械整備事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		鏡野町	
交付金事業実施場所		岡山市北区建部町中田・西原地内	
交付金事業の概要		<p>当該路線は、西原地区住民の通勤通学はもとより主要な生活道ですが、地元町内会長より非常に危険な状況であると舗装改修の強い要望があり、市道路管理担当職員が現地確認をしたところ、長年の効用により路面に亀甲状のひび割れ、大きな轍が多数ありました。また、一車線の道路で歩道も設置されておらず今後も道路改良計画はなく、歩行者及び二輪車が通行する際に車両が通行すると轍で車両がバウンドし、非常に危険な状況です。このことから、本事業では、交付金を活用し舗装改修工事を実施することにより、歩行者及び二輪車が安全で安心して通行できる道路となるよう交通環境の改善を図ります。</p> <p>切削オーバーレイ工 延長L=266.2m 幅員W=4.00m~9.75m A=1,448㎡</p>	
総事業費（円）	10,659,600	交付金充当額（円）	9,000,000
		うち文部科学省分	0
		うち経済産業省分	9,000,000
交付金事業の成果目標		<p>新町建設計画（平成17年3月の合併後、15年間の鏡野町の建設計画）の中の町民アンケート「将来どのような町になればよいと思いますか」の質問に対し、町民の6.7%が「災害や事故のない安全なまち」と回答しており、鏡野町除排雪機械更新計画により標準使用年数以上を経過した機械を計画的に更新することにより、出力低下等による除雪作業の遅れが解消され、早期に除雪作業を終えることで雪害や交通事故のないまちを目標とします。</p> <p>また、町内の中でも積雪量の最も多い上齋原地区に新規除雪ドーザ（11t級）を配備することにより、出力低下による除雪作業の遅れもなくなり、降雪時における雪害の防止と生活道路（通勤・通学に利用）でもある道路網の機能を保つことで、電源立地地域である当町の地域住民の通行の安全性を確保することが目標です。</p> <p>上記のことから、地域社会の発展による地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に大きく寄与することが期待できます。</p>	
交付金事業の成果指標		<p>上記、成果目標を達成するために、除雪ドーザ（11t級）1台を整備します。定量的な成果指数として、降雪量にもよりますが、除雪機械整備地区（鏡野町上齋原地区）の除雪作業の遅延による地元住民からの苦情がゼロ件となるように設定します。</p>	

交付金事業の成果及び評価		本事業を実施し、除雪機械（11tドーザ）を整備したことにより出力低下による除雪作業の遅れもなく、降雪時における雪害の防止と生活道路（通勤・通学に利用）でもある道路網の機能が保たれ、除雪機械整備地区（鏡野町上斎原赤和瀬地区）の除雪作業の遅延による地元住民からの苦情はありませんでした。		
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額（円）
	除雪機械の購入	指名競争入札	富士岡山運搬機株式会社	10,659,600
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
無				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			無	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。
(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。

様式第8（第22条関係）

平成29年度電源立地地域対策交付金事業評価報告書

中 第 51 号
平成 30 年 4 月 6 日

中国経済産業局長 波留 静哉 殿

岡山市北区内山下二丁目4番6号
岡山県知事 伊原木 隆 太

平成29年6月30日付け20170526中国第12号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について電源立地地域対策交付金交付規則第22条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	給食センター運営事業	高梁市	10,000,000	10,000,000	総事業費 12,653,631

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	給食センター運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		高梁市		
交付金事業実施場所		岡山市北区建部町中田・西原地内		
交付金事業の概要		<p>当該路線は、西原地区住民の通勤通学はもとより主要な生活道ですが、地元町内会長より非常に危険な状況であると舗装改修の強い要望があり、市道路管理担当職員が現地確認をしたところ、長年の効用により路面に亀甲状のひび割れ、大きな轍が多数ありました。また、一車線の道路で歩道も設置されておらず今後も道路改良計画はなく、歩行者及び二輪車が通行する際に車両が通行すると轍で車両がバウンドし、非常に危険な状況です。このことから、本事業では、交付金を活用し舗装改修工事を実施することにより、歩行者及び二輪車が安全で安心して通行できる道路となるよう交通環境の改善を図ります。</p> <p>切削オーバーレイ工 延長L=266.2m 幅員W=4.00m×9.75m A=1,448㎡</p>		
総事業費（円）	12,653,631	交付金充当額（円）		10,000,000
		うち文部科学省分		0
		うち経済産業省分		10,000,000
交付金事業の成果目標		<p>学校給食献立検討委員会の協議において、食育を推進する上で不規則な食生活や偏った食事がもたらす肥満や貧血、集中力の欠如が課題にのぼり、学校給食の献立は、おいしく食べられることはもちろん、多様な食品の組み合わせや栄養バランスが取れたものになることが求められています。第2次高梁市教育振興基本計画においては学校給食を通しての食育の推進及び食物アレルギー対策による安心安全な学校給食の提供を図ることが定められています。このことを受け、給食を通じた食育の推進と安心安全な学校給食の提供を目標とします。また、水力発電施設について、高梁市ホームページに記載し、地域住民の理解を深めます。</p>		
交付金事業の成果指標		<p>上記成果目標を達成するため、水力発電施設周辺地域内の小中学校に給食を配膳している学校給食センター2施設の運営事業（臨時給食職員16名の5か月分賃金及び期末手当）に取り組みます。高梁市では、小中学校に配膳する前に給食センター所長が必ず検食し、検食簿に「味付け」「色彩・形態」「量」「温度」の4項目について「良」「不良」で記録をつけています。交付金を充当する期間（平成29年7月1日～平成29年12月22日）における給食検食簿の全ての項目で「良」となる日数が90%以上となることを成果指標とします。また、食物アレルギーによる事故ゼロを目標とします。</p>		
交付金事業の成果及び評価		<p>交付金を充当する期間において、「味付け」「色彩・形態」「量」「温度」の全ての項目で「良」評価の割合が90%を超え、食物アレルギーによる事故件数も0件であったことから成果指標及び成果目標を達成しました。当該事業の実施により学校給食を通じた食育の推進と安心安全な学校給食を提供することができました。</p>		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額（円）
臨時給食調理員人件費		任用	-	12,653,631
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				

なし

交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度

H34

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。
(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。

様式第8（第22条関係）

平成29年度電源立地地域対策交付金事業評価報告書

中 第 832 号
平成30年1月5日

中国経済産業局長 波留 静哉 殿

岡山市北区内山下二丁目4番6号
岡山県知事 伊原木 隆 太

平成29年7月6日付け20170522中国第18号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について電源立地地域対策交付金交付規則第22条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	小中学校給食共同調理場維持運営事業	新見市	6,000,000	6,000,000	総事業費 6,508,600

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	小中学校給食共同調理場維持運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		新見市		
交付金事業実施場所		岡山市北区建部町中田・西原地内		
交付金事業の概要		<p>当該路線は、西原地区住民の通勤通学はもとより主要な生活道ですが、地元町内会長より非常に危険な状況であると舗装改修の強い要望があり、市道路管理担当職員が現地確認をしたところ、長年の効用により路面に亀甲状のひび割れ、大きな轍が多数ありました。また、一車線の道路で歩道も設置されておらず今後も道路改良計画はなく、歩行者及び二輪車が通行する際に車両が通行すると轍で車両がバウンドし、非常に危険な状況です。このことから、本事業では、交付金を活用し舗装改修工事を実施することにより、歩行者及び二輪車が安全で安心して通行できる道路となるよう交通環境の改善を図ります。</p> <p>切削オーバーレイ工 延長L=266.2m 幅員W=4.00m×9.75m A=1,448㎡</p>		
総事業費（円）	6,508,600	交付金充当額（円）		6,000,000
		うち文部科学省分		0
		うち経済産業省分		6,000,000
交付金事業の成果目標		<p>新見市健康増進計画において、小学生、中学生の肥満の割合が増加傾向にあることが課題としてあげられているほか、学校給食運営委員会や給食試食会において、発育に沿った分量や健康により薄味の給食の提供を保護者から要望されているところです。また、市域が広大である上に寒冷地であるため、特に冬季には輸送中に冷めないよう保温容器を使用したり、調理温度をこまめに管理するなど、温かくおいしい給食を届けられるよう努めております。</p> <p>これらの課題に取り組むため、給食の日々の出来映えをチェックし、遅滞なく配送する体制を維持することによって、温かくおいしい給食を届け、給食を通じた食育を推進し、児童、生徒の健康の増進を図ります。</p> <p>なお、交付金の趣旨を住民等に周知させるため、本市ホームページに事業概要等を掲載します。</p>		
交付金事業の成果指標		<p>上記成果目標を達成するため、市内小中学校給食共同調理場における施設の維持運営事業を実施します。交付金を充当している10月、11月における給食検食簿の「良」評価の日数が80%を超えること、及び定刻どおり配送することを成果指標とします。</p>		
交付金事業の成果及び評価		<p>10月、11月における「良」評価の割合が最も低い調理場でも95%であり、全ての調理場において検食簿評価及び定刻配送の指標を超えることができました。当市は市域が広大なため、配送に多額の経費を要していますが、当該事業の実施により、安全でおいしい給食の配給体制を維持することができ、児童、生徒の健康の増進を図ることができました。</p> <p>今後も検食簿評価及び定刻配送の指標を基に、児童、生徒の心身の発達を助けるような給食を提供し、健康の増進を図っていきます。</p>		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額（円）
調理員人件費		雇用	—	6,508,600
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			H33	

-
- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。
- (4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
- (5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
- (6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- (7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。

様式第8（第22条関係）

平成29年度電源立地地域対策交付金事業評価報告書

中 第 1139 号
平成30年3月30日

中国経済産業局長 波留 静哉 殿

岡山市北区内山下二丁目4番6号
岡山県知事 伊原木 隆 太

平成29年6月30日付け20170522中国第19号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について電源立地地域対策交付金交付規則第22条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	新庄村保育所維持運営 事業	新庄村	4,634,000	4,634,000	総事業費 4,719,520

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名	
1	地域活性化措置	新庄村保育所維持運営事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		新庄村	
交付金事業実施場所		岡山市北区建部町中田・西原地内	
交付金事業の概要		<p>当該路線は、西原地区住民の通勤通学はもとより主要な生活道ですが、地元町内会長より非常に危険な状況であると舗装改修の強い要望があり、市道路管理担当職員が現地確認をしたところ、長年の効用により路面に亀甲状のひび割れ、大きな轍が多数ありました。また、一車線の道路で歩道も設置されておらず今後も道路改良計画はなく、歩行者及び二輪車が通行する際に車両が通行すると轍で車両がバウンドし、非常に危険な状況です。このことから、本事業では、交付金を活用し舗装改修工事を実施することにより、歩行者及び二輪車が安全で安心して通行できる道路となるよう交通環境の改善を図ります。</p> <p>切削オーバーレイ工 延長L=266.2m 幅員W=4.00m~9.75m A=1,448㎡</p>	
総事業費（円）	4,719,520	交付金充当額（円）	4,634,000
		うち文部科学省分	0
		うち経済産業省分	4,634,000
交付金事業の成果目標		<p>本村では、「新庄っ子宝憲章」や「新庄村子ども条例」を制定し、次世代を担う子どもたちが健やかに成長できる地域づくりを推進しています。また、平成28年3月に策定した新庄村まち・ひと・しごと創生総合戦略において、子育て中の母親の支援対策として、延長保育事業や一時保育事業に加え、保育料の完全無料化など保育サービスの充実を図ることで出生数及び転入数の増加を目指しており、限られた財源の中で、施設の維持補修も含め、保育所の運営に苦慮しています。本事業の導入による運営費の補助により、保育業務全体としての機能充実を図り、住民の福祉向上に繋げることが目標になります。保育所の運営費の一部は、国の電源立地地域対策交付金を財源としていることを村のHPや広報誌で村民に周知することで、引き続き、地域住民の電源開発への理解促進を図っていく予定です。</p>	
交付金事業の成果指標		<p>上記成果目標を達成するためには、保育士を専門職として継続的に雇用し育成していくことが必要になります。保育士の確保、育成により、子ども達が楽しく保育所生活が送れることはもちろん、単なる利便的なサービスの提供ではなく、一人ひとりの子どもの発育を尊重し支援する保育を行い、保護者の保育に対する満足度80%を得ることとします。保育所では、年3回程度の参観日の際、保護者を対象として、参観日の感想や保育に対する意見・要望等のアンケートを実施しており、その結果を集計し、満足度を計測します。</p>	
交付金事業の成果及び評価		<p>本交付金の活用により、保育所職員3名分の6ヶ月分の給料及び12月期末・勤勉手当を確保することができました。参観日等の機会を捉え、保護者に参観日の感想や保育に対する意見・要望等のアンケートを実施したところ、「十分満足している」という好意的な意見がある一方で、「もっと子どものしつけをきちんと欲しい」という改善を望む声もあり、全体として保育に対する満足度は、72%でした。今後も継続して、保育士を確保、育成していくことで、保護者の満足度を上げていくこととします。</p> <p>また、保育所の運営費の一部は、国の電源立地地域対策交付金を財源としていることを村のHPや広報誌で村民に周知することで、引き続き、地域住民の電源開発への理解促進を図っていく予定です。</p>	
交付金事業の契約の概要			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	保育士の人件費	雇用	-
			契約金額（円）
			4,719,520

成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無	
無	
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H33

-
- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。
- (4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
- (5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
- (6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- (7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。

様式第8（第22条関係）

平成29年度電源立地地域対策交付金事業評価報告書

中 第 1104 号
平成30年3月26日

中国経済産業局長 波留 静哉 殿

岡山市北区内山下二丁目4番6号
岡山県知事 伊原木 隆 太

平成29年8月1日付け20170523中国第11号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について電源立地地域対策交付金交付規則第22条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道小谷線舗装修繕工事	真庭市	3,600,000	3,600,000	総事業費 3,865,320
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道中須南線舗装修繕工事	真庭市	2,850,000	2,850,000	総事業費 2,936,520
3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道中谷線舗装新設工事	真庭市	1,650,000	1,650,000	総事業費 1,674,000
4	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道長坂線舗装修繕工事	真庭市	3,650,000	3,650,000	総事業費 3,780,000
5	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道立石小茅線舗装修繕工事	真庭市	5,230,000	5,230,000	総事業費 5,238,000

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道小谷線舗装修繕工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		真庭市		
交付金事業実施場所		岡山市北区建部町中田・西原地内		
交付金事業の概要		<p>当該路線は、西原地区住民の通勤通学はもとより主要な生活道ですが、地元町内会長より非常に危険な状況であると舗装改修の強い要望があり、市道路管理担当職員が現地確認をしたところ、長年の効用により路面に亀甲状のひび割れ、大きな轍が多数ありました。また、一車線の道路で歩道も設置されておらず今後も道路改良計画はなく、歩行者及び二輪車が通行する際に車両が通行すると轍で車両がバウンドし、非常に危険な状況です。このことから、本事業では、交付金を活用し舗装改修工事を実施することにより、歩行者及び二輪車が安全で安心して通行できる道路となるよう交通環境の改善を図ります。</p> <p>切削オーバーレイ工 延長L=266.2m 幅員W=4.00m~9.75m A=1,448㎡</p>		
総事業費（円）	3,865,320	交付金充当額（円）		3,600,000
		うち文部科学省分		0
		うち経済産業省分		3,600,000
交付金事業の成果目標		<p>地域住民にとって欠かすことのできない生活道である同路線について、住民から要望のあった舗装面改善を行い、発電用施設周辺の住民が振動等による不快な思いをせず、快適に暮らせるよう、環境改善を図ることを目標とします。事業実施にあたっては、交付金事業周知のため、着工前には地元代表に交付金事業であることを説明するほか、事業完了後には整備結果を広報誌やホームページに掲載します。</p>		
交付金事業の成果指標		<p>上記目標を達成するため、当該市道において、住民から改善要望のあった舗装面の老朽化によるクラックや路面の下がり無くし、道路の視認性の向上とともに交通の安全確保や安全安心を実現させます。工事完了後は自治会役員への聞き取りを行い、地域住民の満足度100%を目指します。修繕計画延長が全体で380.0mあり、そのうち53% (200m) が完了しているため、平成29年度は残りの47% (180.0m) を施工し、事業を完了させます。</p>		
交付金事業の成果及び評価		<p>本工事を施工したことにより、路面下がりやクラックがなくなり、降雨時の水たまりなども発生なくなり、道路の視認性向上とともに交通の安全を確保できたほか、地元自治会役員への聞き取りでは喜びの声をいただき、満足度100%を達成したことを確認しました。平成28年度から実施してきた工事も平成29年度をもって完全施工となりました。</p>		
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額（円）
	道路整備	指名競争入札	株式会社 岡田組	3,865,320
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			平成30年度	

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名			
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道中須南線舗装修繕工事			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		真庭市			
交付金事業実施場所		真庭市勝山地内			
交付金事業の概要		当該市道は、勝山地区と草加部地区を結ぶ重要な生活道路であり、自動車・自転車・歩行者の多い路線です。しかし近年舗装面の老朽化によるクラックや轍が拡大し、放置すれば路肩の崩壊が起き、道路として使用できなくなる恐れがあります。また、運転者や歩行者からも車両運転中の振動による不快感や、歩行・自転車走行時の不安を訴える声が多く寄せられるようになったため、舗装修繕工事を行うものです。当該路線の修繕計画は4年計画で、平成26年度から開始し、平成29年度で完了予定です。延長L=200.0m、幅員W=3.7~4.8m、舗装工A=819m ² 区画線工L=386.5m			
総事業費（円）	2,936,520	交付金充当額（円）		2,850,000	
		うち文部科学省分			
		うち経済産業省分		2,850,000	
交付金事業の成果目標		地域住民にとって欠かすことのできない生活道であるほか、国道と真庭木材市場を結ぶなど、産業面でも非常に重要な位置づけである同路線について、地元からの要望の多い当該市道の路面修繕を行うことにより、発電用施設周辺の住民が不快な思いや不安・恐怖を感じる事が無くなるよう、環境改善を行うことを目標とします。事業実施にあたっては、交付金事業周知のため、着工前には地元代表に交付金事業であることを説明するほか、事業完了後には整備結果を広報誌やホームページに掲載します。			
交付金事業の成果指標		上記目標を達成するため、当該市道において、住民から改善要望のあった路面のクラックや轍を無くし、園児や高校生の歩行・通行はもちろん、区画線による道路の視認性の向上とともに車両すれ違い時の交通の安全を確保します。工事完了後は自治会役員への聞き取りを行い、地域住民の満足度100%を目指します。修繕計画延長が全体で1060.0mあり、そのうち81%(860.0m)が完了しているので、平成29年度は残りの19%(200.0m)を施工し、事業を完了させます。			
交付金事業の成果及び評価		本工事を施工したことにより、路面のクラックや轍が無くなり、路肩崩壊の不安が払拭されたほか、区画線による視認性が向上し、園児や高校生の歩行・通行、また車両のすれ違い時の安全が確保でき、地元自治会役員への聞き取りでは喜びの声をいただき、満足度100%を達成したことを確認しました。平成26年度から実施してきた工事も平成29年度をもって完全施工となりました。			
交付金事業の契約の概要					
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額（円）
道路整備		指名競争入札	有限会社 トシタカ		2,936,520
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無					
なし					
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			平成30年度		

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名		
3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道中谷線舗装新設工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		真庭市		
交付金事業実施場所		真庭市黒田地内		
交付金事業の概要		当該市道は地域の生活道路であり、さらに中谷地区と国道181号線を最短で結ぶとして利用頻度の高い路線ですが、一部舗装がされていないため浸食が激しく、車の底を擦るなどの事例が発生し、通行不能になることもあり、住民から改善を要望する声が寄せられています。今回、そうした事態を未然に防ぐために舗装工事を行うものです。当該路線の舗装新設計画は3年計画で、平成27年度から開始し、平成29年度で完了予定です。 延長L=123.3m、幅員W=2.5~3.8m、舗装工A=358m ²		
総事業費（円）	1,674,000	交付金充当額（円）		1,650,000
		うち文部科学省分		
		うち経済産業省分		1,650,000
交付金事業の成果目標		地域住民にとって欠かすことのできない生活道である同路線について、住民から改善要望のあった路面浸食について対策を施し、発電用施設周辺の住民が不安なく通行できるよう、環境改善を図ることを目標とします。事業実施にあたっては、交付金事業周知のため、着工前には地元代表に交付金事業であることを説明するほか、事業完了後には整備結果を広報誌やホームページに掲載します。		
交付金事業の成果指標		上記目標を達成するため、当該市道において、住民から改善要望のあった路面浸食の心配を無くし、地元住民の安全安心を実現します。工事完了後は自治会役員への聞き取りを行い、地域住民の満足度100%を目指します。修繕計画延長が全体で557.3mあり、そのうち78% (434.0m) が完了しているので、平成29年度は残りの22% (123.3m) を施工し、事業を完了させます。		
交付金事業の成果及び評価		本工事を施工したことにより、路面浸食について対策が施され、通行の支障が全くなくなり、地元自治会役員への聞き取りでは喜びの声をいただき、満足度100%を達成したことを確認しました。平成27年度から実施してきた工事も平成29年度をもって完全施工となりました。		
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額（円）
	道路整備	指名競争入札	有限会社 トシタカ	1,674,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			平成30年度	

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名		
4	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道長坂線舗装修繕工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		真庭市		
交付金事業実施場所		真庭市関地内		
交付金事業の概要		<p>当該市道は、長坂・千里地区と主要地方道勝山栗原線を結ぶ重要な生活道路であり、また同地区と国道313号線を最短で結ぶ路線でもあります。しかし近年、舗装面の劣化によりクラックや浸食陥没が発生し、排水施設が設置されていないことによる路肩洗掘もあり、路肩崩落の危険性に対する住民の不安の声もあることから、舗装修繕工事を行うものです。当該路線の舗装修繕工事は6年計画で、平成28年度から開始し、平成33年度で完了予定です。</p> <p>延長L=110.0m、幅員W=2.55~4.45m、舗装工A=312m²、排水構造物工L=100.1m、区画線工L=111.5m</p>		
総事業費（円）	3,780,000	交付金充当額（円）		3,650,000
		うち文部科学省分		
		うち経済産業省分		3,650,000
交付金事業の成果目標		<p>集落間を繋ぐ生活道として地元住民からの補修要望が多数ある当該市道において、住民から改善要望のあった舗装面の修繕、排水対策を行うことにより、発電用施設周辺の住民が不安なく暮らせるよう、環境改善を行うことを目標とします。事業実施にあたっては、交付金事業周知のため、着工前には地元代表に交付金事業であることを説明するほか、事業完了後には整備結果を広報誌やホームページに掲載します。</p>		
交付金事業の成果指標		<p>当該市道は集落間を繋ぐ生活道で地元住民からの補修要望が多数あります。当該市道において、住民から改善要望のあった舗装面の劣化、排水対策を行います。工事完了後は自治会役員への聞き取りを行い、地域住民の満足度100%を目指します。修繕計画延長が全体で676.5mあり、そのうち18%(125.0m)が完了しているため、平成29年度は17%(110.0m)を施工し、全体で35%(235.0m)の完了を目指します。</p>		
交付金事業の成果及び評価		<p>本工事を施工したことにより、舗装面の劣化解消や排水対策が完了し、路肩崩壊の危険も払拭され、地元自治会役員への聞き取りでは喜びの声をいただき、満足度100%を達成したことを確認しました。本工事は平成28年度から実施し、本年度の施工により進捗率は35%になりました。平成33年度において完全施工を目指します。</p>		
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額（円）
	道路整備	指名競争入札	株式会社 三壽工業所	3,780,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			平成34年度	

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名		
5	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道立石小茅線舗装修繕工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		真庭市		
交付金事業実施場所		真庭市栗谷地内		
交付金事業の概要		<p>当該市道は、県道中福田湯原線と県道栗谷美甘線を結ぶ重要な生活道路であり、真庭市でも最大級のスポーツイベントである湯原トライアスロンのコースに選ばれるなど、地域活性化の一役を担う路線です。しかし近年、舗装面の老朽化、除雪作業によるクラックや轍が発生しており、住民から「車両通行時の乗り心地が悪い」「視認性が悪い」など安全な通行に対する不安の声が寄せられるようになったため舗装修繕工事を行うものです。当該路線の修繕工事は4年計画で、平成28年度から開始し平成31年度で完了予定です。</p> <p>延長L=377.0m、幅員W=4.7～8.6m、舗装工A=1,978m²、区画線工L=760.0m</p>		
総事業費（円）	5,238,000	交付金充当額（円）		5,230,000
		うち文部科学省分		
		うち経済産業省分		5,230,000
交付金事業の成果目標		<p>地域住民にとって欠かすことのできない生活道である同路線について、舗装面の老朽化が著しいとして地元からも要望が寄せられていることから、舗装面の修繕を施し、発電用施設周辺の住民が不安なく通行できるよう、環境改善を図ることを目標とします。事業実施にあたっては、交付金事業周知のため、着工前には地元代表に交付金事業であることを説明するほか、事業完了後には整備結果を広報誌やホームページに掲載します。</p>		
交付金事業の成果指標		<p>当該市道において、住民から改善要望のあった舗装面の老朽化対策を施し、道路の視認性の向上とともに交通の安全を確保します。工事完了後は自治会役員への聞き取りを行い、地域住民の満足度100%を目指します。修繕計画延長が全体で1021.7mあり、そのうち27%(280.0m)が完了しているので、平成29年度は37%(377.0m)を施工し、全体で64%(657.0m)の完了を目指します。</p>		
交付金事業の成果及び評価		<p>本工事を施工したことにより、舗装面の老朽化対策が施され、交通の安全が確保でき、地元自治会役員からも喜びの声をいただき、満足度100%を達成したことを確認しました。また施工後にプライベートで走行した湯原トライアスロン参加経験者からも走りやすくなったとのコメントも届いています。</p> <p>本工事は平成28年度から実施し、今年度の施工により進捗率は64%になりました。平成31年度において完全施工を目指します。</p>		
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額（円）
	道路整備	指名競争入札	有限会社 横辺工務店	5,238,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			平成32年度	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。
- (4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
- (5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
- (6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- (7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。

様式第8（第22条関係）

平成29年度電源立地地域対策交付金事業評価報告書

中 第 883 号
平成30年1月18日

中国経済産業局長 波留 静哉 殿

岡山市北区内山下二丁目4番6号
岡山県知事 伊原木 隆 太

平成29年6月30日付け20170522中国第20号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について電源立地地域対策交付金交付規則第22条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	津山市立学校給食センター維持運営事業	津山市	6,000,000	6,000,000	総事業費 8,370,000

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	津山市立学校給食センター維持運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		津山市		
交付金事業実施場所		岡山市北区建部町中田・西原地内		
交付金事業の概要		<p>当該路線は、西原地区住民の通勤通学はもとより主要な生活道ですが、地元町内会長より非常に危険な状況であると舗装改修の強い要望があり、市道路管理担当職員が現地確認をしたところ、長年の効用により路面に亀甲状のひび割れ、大きな轍が多数ありました。また、一車線の道路で歩道も設置されておらず今後も道路改良計画はなく、歩行者及び二輪車が通行する際に車両が通行すると轍で車両がバウンドし、非常に危険な状況です。このことから、本事業では、交付金を活用し舗装改修工事を実施することにより、歩行者及び二輪車が安全で安心して通行できる道路となるよう交通環境の改善を図ります。</p> <p>切削オーバーレイ工 延長L=266.2m 幅員W=4.00m×9.75m A=1.448㎡</p>		
総事業費（円）	8,370,000	交付金充当額（円）	6,000,000	
		うち文部科学省分	0	
		うち経済産業省分	6,000,000	
交付金事業の成果目標		<p>津山市では、食育基本法の趣旨を踏まえた「第2次津山市食育推進計画」を策定し、関係機関・団体等と連携を図りながら、地域特性を生かした食育を推進しているところですが、課題となっている生活習慣病予防や健全な食生活の実現に向け、特に地域や教育現場での食育の取組が必要になっています。</p> <p>こうしたことから、地域に暮らす児童・生徒の健やかな成長と食育の推進に重要な役割を果たしている津山市立草加部学校給食センターの安定的な運営管理を図り、安全・安心でおいしい学校給食を提供することが目標になります。</p> <p>また、水力発電施設に対する地域住民の理解を深めるために、市ホームページに掲載します。</p>		
交付金事業の成果指標		<p>上記、成果目標を達成するために、学校長が行う検食において、「味付け」、「色・形態・香り」、「一食分の量」、「温度」、「異味異臭」、「異物混入」の全6項目の内容を検証し、事業評価を実施します。成果指標としては、給食検食の結果を点数化（各項目ごとに適正な場合を1点とする。6点満点）し、平均4.2点以上を設定します。</p>		
交付金事業の成果及び評価		<p>本交付金の活用により、学校給食センターの安定的運営が確保できました。また、成果指標として設定した給食検食の結果が、平均4.2点以上を達成し、子どもたちへ安全で安心な給食を提供することができました。今後も学校給食センターの安定的な運営と安全・安心の給食を提供することで、電源立地地域である当市の地域振興に寄与するとともに、地域住民の電力施設の設置・運転への理解に大きく寄与できるものと考えます。</p>		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額（円）
給食センター 給食調理業務委託		プロポーザル方式	株式会社 東洋食品	401,760,000（平成26年8月1日～平成30年7月31日） 平成29年9月分；8,370,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
無				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			H33	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。
- (4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
- (5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
- (6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
- (7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。

様式第8（第22条関係）

平成29年度電源立地地域対策交付金事業評価報告書

中 第 328 号
平成30年6月18日

中国経済産業局長 波留 静哉 殿

岡山市北区内山下二丁目4番6号
岡山県知事 伊原木 隆 太

平成29年6月30日付け20170522中国第17号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について電源立地地域対策交付金交付規則第22条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	農産物販売所案内及び情報発信表示板設置事業	美咲町	4,400,000	4,400,000	総事業費 4,525,200

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	農産物販売所案内及び情報発信表示板設置事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		美咲町		
交付金事業実施場所		岡山市北区建部町中田・西原地内		
交付金事業の概要		<p>当該路線は、西原地区住民の通勤通学はもとより主要な生活道ですが、地元町内会長より非常に危険な状況であると舗装改修の強い要望があり、市道路管理担当職員が現地確認をしたところ、長年の効用により路面に亀甲状のひび割れ、大きな轍が多数ありました。また、一車線の道路で歩道も設置されておらず今後も道路改良計画はなく、歩行者及び二輪車が通行する際に車両が通行すると轍で車両がバウンドし、非常に危険な状況です。このことから、本事業では、交付金を活用し舗装改修工事を実施することにより、歩行者及び二輪車が安全で安心して通行できる道路となるよう交通環境の改善を図ります。</p> <p>切削オーバーレイ工 延長L=266.2m 幅員W=4.00m~9.75m A=1,448㎡</p>		
総事業費（円）	4,525,200	交付金充当額（円）	4,400,000	
		うち文部科学省分	0	
		うち経済産業省分	4,400,000	
交付金事業の成果目標		<p>農産物直売所及び休憩所「みち停あさひ」は平成23年12月旭総合支所横隣に開店しました。平成27年度に当該施設の来客者（地域外）にアンケート調査（調査期間2/8~3/10・200人対象・回答率50%）を行いました。その結果、初めての来店客が2割、施設を知った方法については、たまたま通りかかったが64%、チラシ・掲示板が8%でした。より多くの集客を目指すには、より多くの通行者に周知することが必要と考えられます。各所に「みち停あさひ」への誘引看板の設置をしていますが、集客の効果がでないため、より多くの交通量がある国道429号線沿いに電光掲示板を設置し、来客数を増やすことを目標とします。来客数が増となれば、みち停イベント（足湯、夏祭り、感謝祭等）も活気溢れ、地域住民との交流も深まるとともに、農産物を出荷するみち停会員も増え、地域活性化にもつながります。また、地域住民に対し、通信設備を利用した安全安心な防災活動も啓発でき、町広報紙及びホームページを利用した水力発電施設の理解を深めていくことを目標とします。</p>		
交付金事業の成果指標		<p>上記目標を達成する為、町外部から訪れる通行車両からよく見える道路脇に電光掲示板を設置し、みち停あさひへの交通案内や販売している旬の農産物等を表示することで、来客数増を図り、地域農産物等の売上の増加を目指します。成果指標として、みち停での売り上げについて、毎年3月末に調査している結果と比較して前年度の5%以上上昇を定めます。</p>		
交付金事業の成果及び評価		<p>情報発信表示板の設置完了が平成30年3月であることから、成果及び評価をすることが現時点では難しいため、平成30年度末の売上金額により再評価します。今回設置した電光掲示板は、地域住民及び観光客等に対する防災情報（交通情報・気象情報等）タイムリーな情報発信手段として有効活用できています。</p>		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額（円）
物品の購入		見積入札	松尾設備工業㈱	4,525,200

成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無	
無	
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	平成31年度

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。
(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。